



市民が主役の まちづくりを目指して



明けましておめでとうございます。

2008年が皆さまにとりましてご多幸な年でありますようご祈念いたします。

昨年は、「第四期総合計画」「財政再建計画」「第二次行政改革大綱」を取りまとめ、合併後の新たなまちづくりと、さらなる行財政改革へ向けた取り組みがスタートいたしました。

また、私にとりましては、初めて市長公約（マニフェスト）を掲げて選挙に臨み、引き続き向こう4年間の市政運営を託されました。

今年、市民が主体でまちづくりを進めていくための基本的なルールを定めた「自治基本条例」を制定し、改めて市民がまちづくりの主役であることを宣言するとともに、適切な役割分担の下での連携協力、町内会やNPO法人、各種市民団体への活動支援など「市民協働」をさらに進めてまいります。

また、これまで取り組んできました行財政改革につきましては、平成21年度には地方公共団体財政健全化法が施行されることから、財政再建の取

り組みをさらに加速させていく必要がありますが、中でも、以前より懸案となっております土地開発公社について、将来に禍根を残さないよう、抜本的な経営健全化計画を取りまとめ、確実な実行に努めてまいります。

こうした一方で、今年にはカナダ・キャンベルリバー市と姉妹都市提携25周年、ロシア・ウニノ市と15周年の記念すべき節目の年を迎えます。現在、NPO法人石狩国際交流協会を中心として各種記念行事を企画していますが、この記念すべき年を皆さまともども大いに祝い合いたいと思います。諸般の情勢は必ずしも明るいことばかりではありませんが、明るい将来が必ず来ることを信じ、共に頑張っていきたいと思っております。

平成二十年 新春

石狩市長

田岡 克介

2008

広告